




第六次

吉見町総合振興計画

後期基本計画【概要版】



2026-2030



未来へつなぐ
みんなで安心して暮らせるまち
よしみ

■ 計画の構成

総合振興計画が担う部分

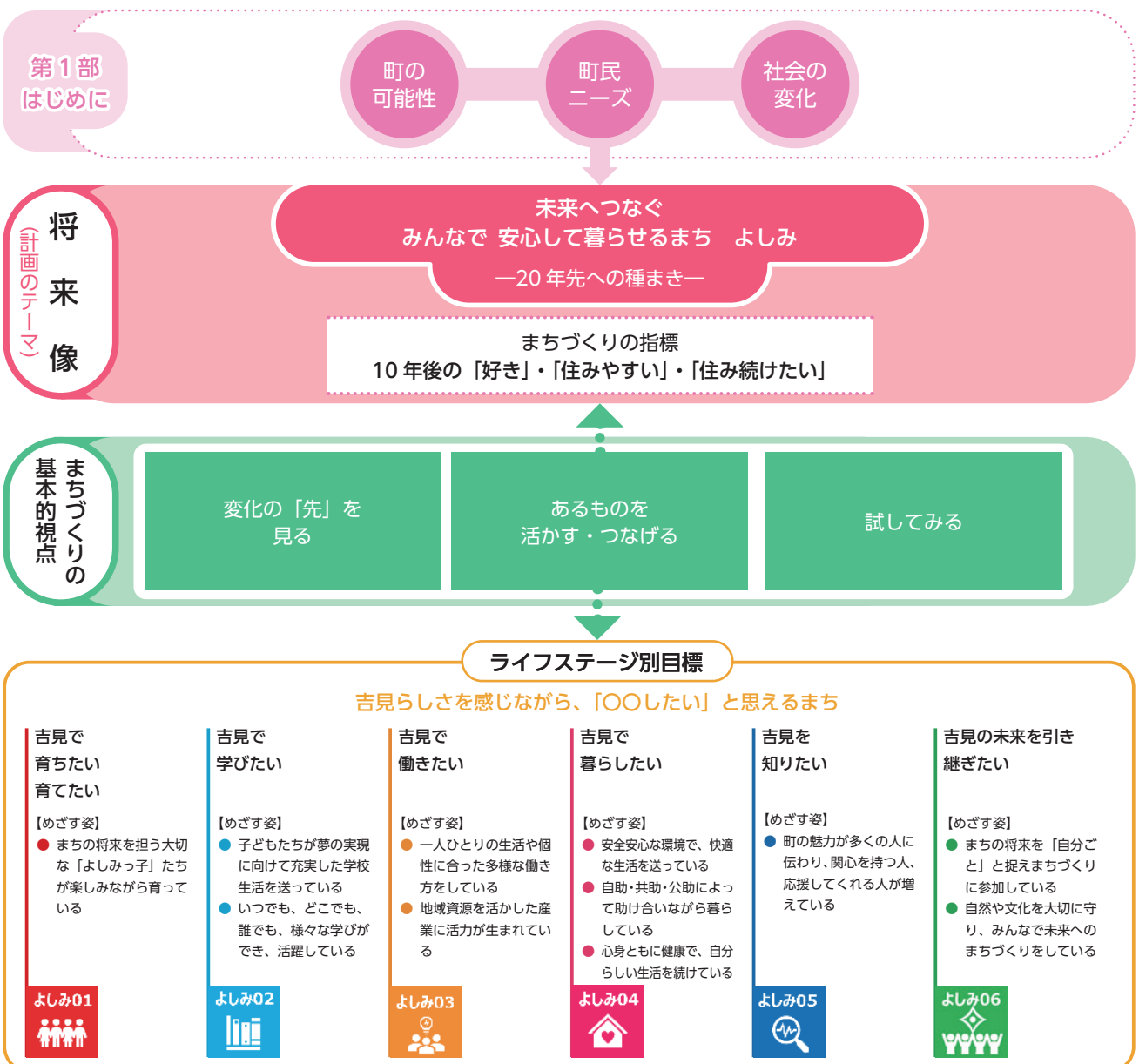
項目	内容
 <p>基本構想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来像・まちづくりの指標 ■ 基本的視点 ■ ライフステージ別目標 ■ 人口規模とまちづくり ■ 未来地図
 <p>基本計画</p>	<p>(ライフステージ別目標ごとに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ めざす姿 ■ 目標の達成状況を見るための評価指標 (KPI)ⁱ ■ 主な取組

(各種分野別計画等)

↑ 分野ごとに策定する各種計画は、総合振興計画と整合させます。

i KPI : Key Performance Indicator (重要業績評価指標)

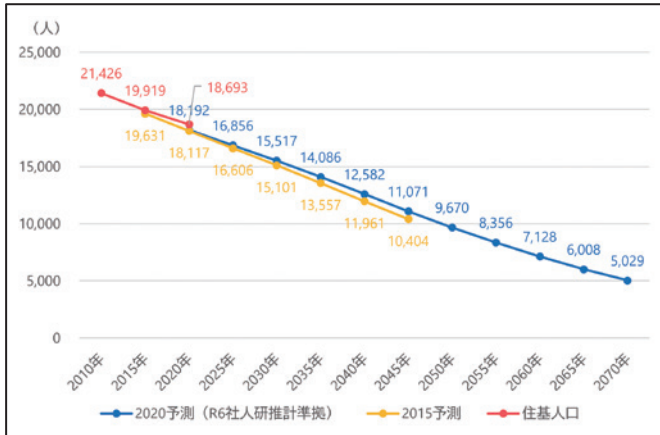
■ 基本構想体系図



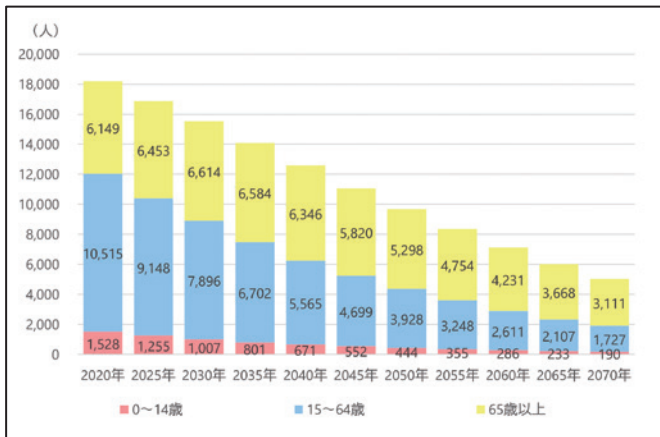
■ 人口規模とまちづくり

後期基本計画の最終年度である令和 12 年（2030）以降も人口減少が進行していくことを踏まえて、この計画は、10 年後を「ゴール」ではなく、20 年先への「通過点」と考えています。

社人研による人口推移予測（吉見町）



社人研「2020 予測」に基づく年齢構成の推移



現在



10 年後



20 年後



吉見町の人口規模

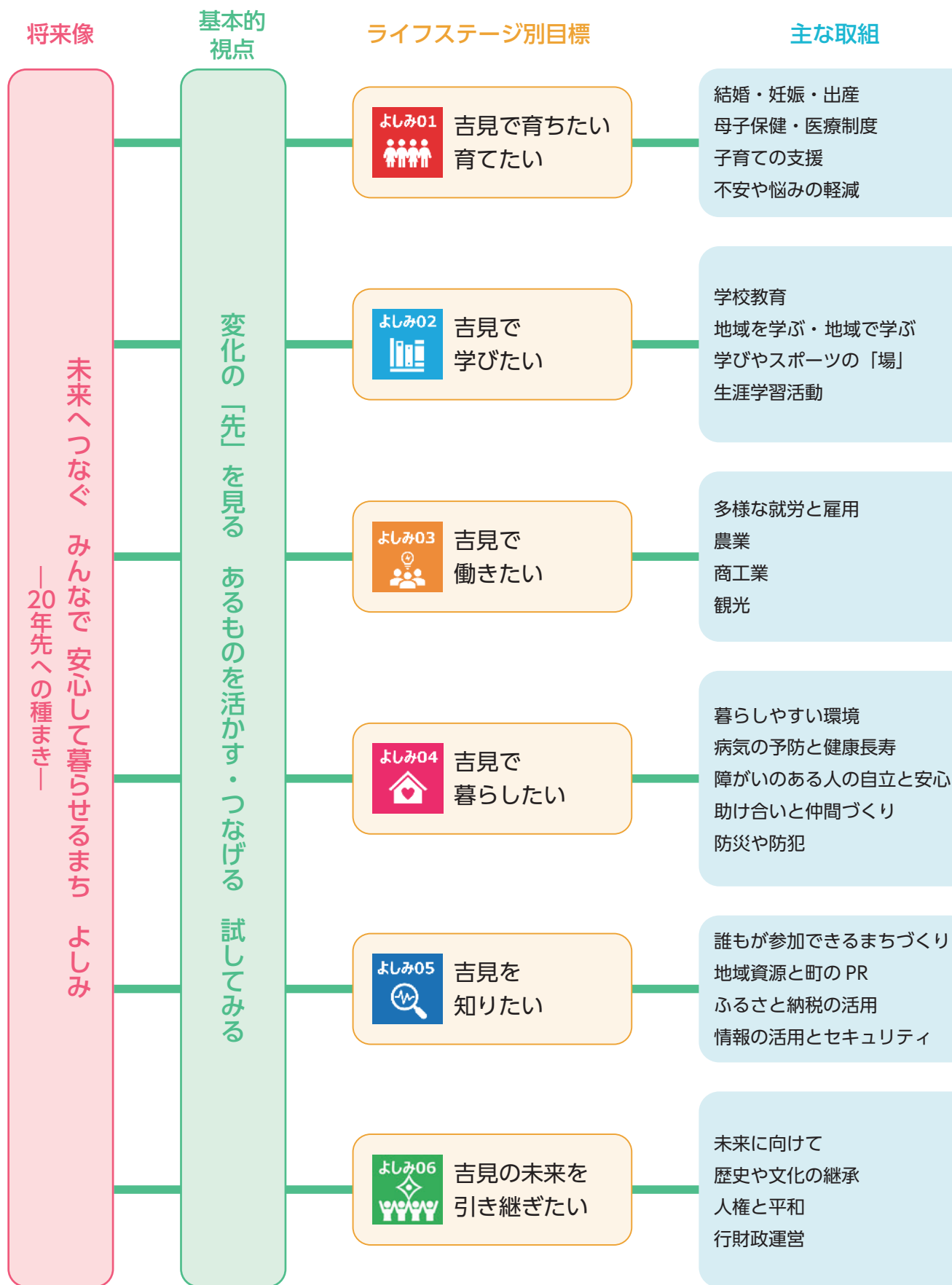


より良いまちにしていけるために活動している人

「吉見町の人口規模」の図は、より良いまちにしていけるために活動する人が増え、その人たちを応援する人が増えていくことで、人口規模が縮小しても、より良いまちになっていくまちづくりのイメージ図です。

また、これからのまちづくりは、すべて人の力でやろうとするのではなく、便利な技術などを活用していくことも大切になります。

■ 後期基本計画体系一覧



■ ライフステージ別目標

ライフステージ別目標 01 / 吉見で育ちたい育てたい

よしみ01



「育ちたい・育てたい」と思えるまち

ワークショップでは「子どもがいると、地域が明るくなる」という意見がありました。貴重でかけがえのない地域の子どもたち、孫たちは町の希望です。

結婚や出産を希望する人への支援、子どもたちが「吉見に生まれ育って良かった」と思えること、子どもや孫を育てる人が「吉見で育てて良かった」と思えることは、まちの未来、みんなの安心に深く関わっています。そして、「ここで育って良かった」、「この場所で育ちたい」と思えることが、「吉見で育てたい」につながっていきます。

こうした背景から、「育ちたい・育てたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

- ▶ まちの将来を担う大切な「よしみっ子」たちが楽しみながら育っている

ライフステージ別目標 02 / 吉見で学びたい

よしみ02



「学びたい」と思えるまち

子どもたちがそれぞれの夢の実現に向けて、安心して学び、充実した学校生活を送ることができる環境の整備は、未来につながるまちづくりそのものです。少子化が進む中、児童生徒一人ひとりの個性を大切にするために、学校現場の指導力向上に加えて、保護者・地域と学校の連携など、多面的な取組が求められます。

また、仕事のために学ぶ、趣味やスポーツに打ち込む、誰かに教える・学び合うといった多様な学びの場、生涯学習の環境は、一人ひとりが生きがいを持って、充実した心豊かな生活を送るためにも不可欠です。

こうした背景から、子どもから高齢者まで「学びたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

- ▶ 子どもたちが夢の実現に向けて充実した学校生活を送っている
- ▶ いつでも、どこでも、誰でも、様々な学びができ、活躍している

よしみ03



「働きたい」と思えるまち

町の基幹産業である農業や、職人の技能など、多くの人を守りたいと思っている「仕事」があり、各種産業（農業、商業、工業、観光など）の振興が求められています。

また、新産業や事業の創出、テレワークによる時間や場所にとらわれない働き方、ワークライフバランス、生きがいとしての仕事など、既存の形態にとらわれない多様な働く機会・場が求められるようになっていきます。

人口規模が縮小しても、町の活気や経済的活力を縮小させないためには、町内外で働く町民、町内で働く町外の人など、一人ひとりの活躍が大切です。

こうした背景から、「働きたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

- ▶ 一人ひとりの生活や個性に合った多様な働き方をしている
- ▶ 地域資源を活かした産業に活力が生まれている

よしみ04



「暮らしたい」と思えるまち

快適な日々の暮らしは、生活基盤となるインフラ（道路、上下水道など）、周囲の環境、健康、生きがい、もしものときへの備えなど、様々な要因が重なり合って実現します。

人口減少と少子化の進行が見込まれる中、若い世代が吉見町をふるさとと感じ、定住・移住したいと思えることは極めて重要です。また、誰でも、いくつになっても、いつまでも、住み慣れた地域で安心して暮らしていけることは、高齢化の進行や多様化する時代にとって、今後ますます重要になってきます。

子育て世帯、高齢者、一人暮らしの人、ずっと住んでいる人、新しく住む人など、様々な人たちが、吉見ならではの楽しさや幸せを感じながら暮らせるまちになっていくことが大切です。

こうした背景から、「暮らしたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

- ▶ 安全安心な環境で、快適な生活を送っている
- ▶ 自助・共助・公助によって助け合いながら暮らしている
- ▶ 心身ともに健康で、自分らしい生活を続けている

よしみ05



「知りたい」と思えるまち

町のことを知り、興味を持つことは、まちづくりの第一歩です。新たなビジネスの誘致、観光の活性化、移住・定住の促進なども、まず吉見町を知ってもらうことが必要です。世界のどこにいても、吉見町のことを知りたいと思えばインターネットを使って調べることができるなど、様々なことがオンラインで可能になっています。一方、口コミや実体験など、非デジタルの情報を大切に感じる人もいます。

吉見町に興味や関心を持ち、吉見町のことを考え、吉見町を応援してくれる人を、町の内外に増やしていくことが大切です。

こうした背景から、「知りたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

- ▶ 町の魅力が多くの人に伝わり、関心を持つ人、応援してくれる人が増えている

よしみ06



「未来を引き継ぎたい」と思えるまち

豊かな自然、のどかな田園風景、人と人のつながり、歴史や伝統、特産品のいちごなど、多くの人々が「これからも守りたい・残したい」と思っているものがあります。それらを守り、残していくために、時代に合わせて何かを変えたり、新しい取組が必要になったりすることもあります。ワークショップでは「伝統は、未来に向けてつくっていくもの」という意見がありました。

町民、事業者、各種団体、行政など様々な主体が連携することにより、吉見町に住むみんなで自分たちのまちについて考え、子どもや孫たちが、安心して「引き継ぎたい」と思えるまちづくりに取り組むとともに、いつの日か、地域で活躍する人材になれるよう、育て、見守り、後押ししていくことが大切です。

次の世代が「未来を引き継ぎたい」と思えるまちの実現は、子どもや孫たちのためだけでなく、いま頑張っている大人たちの安心にもつながります。

こうした背景から、「未来を引き継ぎたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

めざす姿

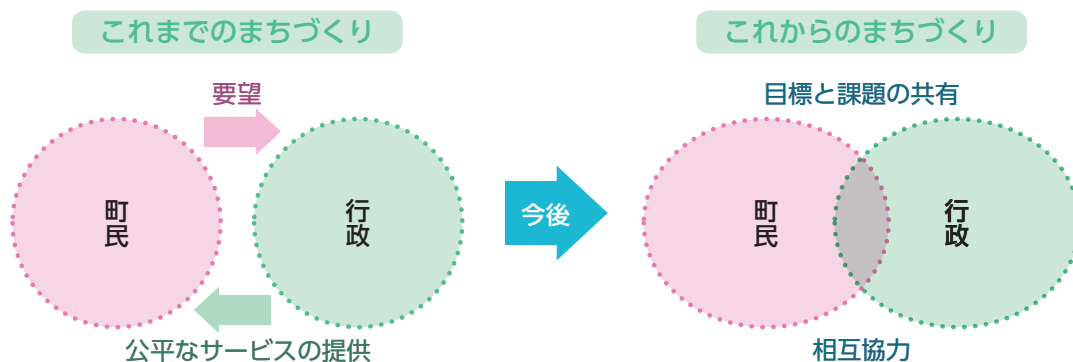
- ▶ まちの将来を「自分ごと」と捉えまちづくりに参加している
- ▶ 自然や文化を大切に守り、みんなで未来へのまちづくりをしている

■ 「第六次吉見町総合振興計画」にもとづいてまちづくりを進めるために

暮らしは多様化し、人口減少や異常気象に伴う災害や感染症などの問題もあります。よりよいまちづくりを進めていくには行政だけでは限界が見えています。

行政だけでは限界がありますが、吉見町には知識や経験、技術、体力や時間を持つ多様な人が住んでおり、いろいろな活動をしている団体もあります。これからのまちづくりのカギは『町民みんなの力』です。

一人ひとりがまちづくりの方法を知って参加し、町民・事業者・団体・行政が協力すれば、様々なニーズに応え、より快適で充実した暮らしに近づけます。



資格や特別な能力、年齢も関係ありません。興味のあること、好きなこと、得意なことを活かして周囲の誰かを今よりちょっと幸せにする、みんなでそんなヒトになりませんか？



これだけは押さえよう！

自分自身で、家族や友だち、地域の人たちと
これからの吉見町について考えたり、話したりすること
未来のために何かをやること、すべてが『まちづくり』です

■ 町長の想い

私たちは今、社会の動きが大きく変わる時代を迎えています。人口減少や高齢化の進行など、地域を取り巻く環境は大きく変化を続けており、こうした状況を見据えながら、将来に向けて着実に歩みを進めていくことが大切になっています。

そのため本町では、これまでの考え方や方法を大切にしつつも、必要に応じて新たな視点を取り入れ、より良いまちづくりを進めてまいります。

本計画は、「よしみスタイル」として、ライフステージごとの「めざす姿」を掲げ、その実現に向けた主な取組を示したものです。これまでの成果や課題を踏まえるとともに、町民懇談会などでいただいた貴重な意見を反映し、将来像である「未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまち よしみ」の実現に向け、必要な施策を着実に推進してまいります。

今後とも、歴史と伝統に育まれた「ふるさと吉見」を大切にしながら、町民の皆さまとの協働のもと、様々な課題に向き合い、より一層魅力ある町を目指してまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、多くの町民の皆さま、そして活発なご審議をいただいた審議会委員の皆さまに、心より感謝申し上げます。



令和8年3月 吉見町長 神田 隆

第六次吉見町総合振興計画 後期基本計画（概要版）
発行 令和8年（2026年）3月
発行者 吉見町
〒355-0192 埼玉県比企郡吉見町大字下細谷 411
TEL (0493) 54-1511（代表）／FAX (0493) 54-4200